

山形コロニー ういる天童【自己評価表】

山形コロニー ういる天童では、放課後等デイサービスが提供するサービスの質について、評価・点検を実施しました。より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域のみなさまに安心して利用していただくことを目的としています。なお、この自己評価表は厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに作成した「保護者向けアンケート」の回答結果、及び自事業所の自己チェックとなる「事業所向けアンケート」の意見等を踏まえ、「自己評価」としてまとめたものです。

「○」：おおむね良好といえる 「▲」：より良くしていきたい 「×」：改善が必要

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	・確保されていると思う。	▲	・十分なスペースとはいえませんが、今後も目的に応じた活動が出来るスペースの確保に努めます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	・適切とは何かが、よくわからない。	○	・当事業所は人員基準を超える職員を配置しております。また、支援員は全て保育士か児童指導員の有資格者です。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリーの配慮が適切になされているか	・バリアフリーとはいえませんが、困難はない。	▲	・全ての方がアクセスでき、同様の活動が出来るよう、合理的な配慮を行なっています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	・週単位の目標設定や活動内容を協議する週間ミーティング。日々の支援前後のミーティングでは、当日の支援内容と振り返り等を行い、業務改善を図っています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	・今後も、ご意見をいただきながら、より良いサービスの提供に努めます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	・このアンケート結果の公表も、情報公開の取り組みになります。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	▲	・現在、第三者評価は実施しておりません。今後、当法人では事業所間で行う内部監査を実施し、より適正な業務管理のための体制づくりを検討しています。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	○	・OJT、OFFJT等、研修計画に基づき、必要な研修機会を確保しています。
	⑨ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	—	○	・保護者、利用児童とのアセスメントや、学校の先生等との連携により、現状の課題やニーズを確認しながら、1つ1つ達成できるような計画を作成しています。
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	○	・独自のアセスメントツールを使用し、職員皆が目を通し、確認できるようにしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	—	○	・支援者ミーティングの中で、個別支援計画に基づいて、個別支援プログラムを考えています。
	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	・満足している。	○	・各々の発達段階、課題に応じて、活動プログラムの設定を考えています。 ・保護者には、送迎時に連絡帳を通して、活動内容を伝えていきます。連絡帳には児童が書いた活動内容の振り返りがあり、一人一人の頑張りを伝えられるように努めています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	—	○	・平日は限られた時間の中でその児童に対して出来ることを、休業日には休業日だからこそチャレンジ出来ることを考え支援に努めています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	—	○	・その子供の現状や課題、その時の気持ちに寄り添いながら、個別活動、集団活動等を考えて計画を作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	・1日1日の支援予定表を作成して、誰がいつ見ても1日の動きと支援内容、役割がわかるようにしています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	—	○	・支援終了後毎日振り返りを行い、支援の中で気付いた点の報告、それに対する検討をして、次の日に繋がるように心がけています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	・第三者の目で見ても支援状況が正確にわかるように記録をしています。ミーティング時に職員間で記録の確認を行い、その記録をもとに支援を考えていきます。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	・個々の計画や必要等に応じ、適宜モニタリングを実施し、計画内容の見直しや目標の再設定等を行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	—	○	・「できた」「わかった」という嬉しい気持ちと、社会の中で必要となるルール学習を軸に、たくさんの体験の機会を提供できるように努めています。

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	・主に、児童発達支援管理者が参加しています。 ・その際、日頃直接的に関わっている支援員と対象児の活動状況等を十分に共有し、他機関と必要な協議検討ができるよう努めています。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	▲	・年間、月間予定表、時間割表を頂き、送迎日時等の確認や学校での取り組み等を確認しています。事業所の活動予定や目標等についても、都度お知らせしています。送迎時の連絡連携は十分な時間を取れないため、必要に応じて情報共有の機会を持つ必要を感じています。 ・利用開始に向け、事前に学校等と連携し、児童の様子や活動内容等の確認等を行い、連携体制を確保しています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	○	・常態的に医療的ケアを要する児童は在籍しておりません。しかし、かかりつけ医等との連携や、服薬管理等のサポートを重要視した支援をしています。
	㉓ 子どもが他の放課後等デイサービスを利用している場合、放課後等デイサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	○	・相談支援事業所や、他の事業所とも顔の見える関係を作り、適宜連携会議等も開催しています。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・現在の当事業所の対象児は、主に小学校低学年の児童です。しかし、当事業所の特色は将来の就労を見据えた、繋がりのある療育サポートの提供ですので、その意識と支援体制は高いレベルで整備しています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	○	・日々の支援の課題点、問題点など意識を持って、研修に参加しています。
	㉖ 地域の方々との交流や、地域の中で活動する機会があるか	・いろいろな機会があり、満足している。	▲	・子ども同士の直接的な交流機会はまだまだありませんが、学童クラブ等の地域拠点と顔の見える関係を築き、支援者間で具体的な連携を取っています。今後は、色々な方々と交流機会等を持っていきたいと考えています。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	—	○	・天童市の自立支援協議会は、委員等の限定されたメンバーで行う会議のみで、地域の事業所が意見などを伝える機会がありません。私たちは、地域の相談支援事業所や放課後デイ事業所等と連携し、意見交換等を行なう連絡会等の任意組織を自主的に構成し、地域の福祉向上に向けて積極的に活動しています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	・主に退所時や送迎時等、お互いに色々な情報を共有ができています。	○	・退所時に「連絡帳」を通して、保護者に当日の活動内容や様子、連絡事項などを直接お伝えしています。その時に家庭等での様子や出来事を教えて頂いています。 ・また、事業所や活動に対する疑問、質問、要望等も伺いながら、説明等の対応をしています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	○	・まず支援者の研修に力を入れています。 ・保護者には、場面に応じて「評価すべきポイント」や「ほめ方」「視点の共有」等、具体的な目つ一緒に確認を進める努力をしています。 ・ペアレントトレーニングも含めた保護者向けの研修を一緒に行えたらと考えています。
保護者への説明責任等	③⑩ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・説明されている。	○	・利用契約の際に、説明しています。運営規定、重要事項説明書等に変更があれば、随時説明をしています。
	③⑪ 保護者に対して、面談・相談・助言等の支援が行われているか	・支援していただけている。	○	・相談や心配ごとがあれば、随時お伺いし、お応えできるようにしています。
	③⑫ 児童・保護者が一同に介する行事等の開催等により、保護者同士の連携・関係づくり等が支援されているか	・親子活動等、機会があった。	▲	・保護者等が一同に介する機会は、現状開催していません。しかし、企画活動等で、親子と一緒に活動する機会等を提案し、利用者や保護者間の輪の拡大を図ってきています。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・説明を受け、対応できることを知っている。	○	・苦情受付担当者、苦情解決責任者の体制を整備・周知し、定例の苦情解決委員会を行っています。また、迅速に対応できる体制を構築しています。
	③⑭ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信しているか	・発信していると思う。	▲	・事業所独自の会報は、未だ発行していません。今後検討していきます。 ・ホームページや法人広報誌では、当事業所の活動に触れていただけるよう、適宜情報発信しています。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	・問題ないと感じる。	○	・個人情報記載された書類等は、個人情報保護マニュアルに沿って、厳重に管理しています。日々の連絡帳や予定管理表等も、具体的な対策を講じ、安心安全な管理ができるよう、職員教育を行っています。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・配慮してくれている。	○	・環境整備や、わかりやすく、見やすく、簡潔に伝えることを日々の支援の中で心がけています。特別なツールは使用していませんが、興味をもって活動に参加できるようにと考えながら行っています。
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか	—	○	・地域連携を重視し、地域の子育てや福祉向上のため意識的に参画しています。 ・また、事業活動では、畑活動等で、地域の方々を始め、公民館や農協の職員等からも協力を頂き運営しております。 ・畑の収穫祭では、地域の方々を招待し、一緒に活動する機会を持つことができました。

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・確認できている。	▲	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルは、法人作成のものを職員に周知し、業務上徹底した管理を行っています。 保護者に対しては、各種マニュアルは配布していません。これらの内容がよりわかりやすく伝わるよう、事業所のオリエンテーションブック（利用者マニュアル）の項目に入れ、周知はしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	・実施してくれている。	○	・春秋年2回の避難訓練と、月に1回防災についてテーマをもって確認や訓練機会をもっています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	・毎年、法人内で研修機会を持っています。また、日常的な確認体制を整えて、指導管理しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	・このような支援が必要なケースには、具体的な計画を立て、内容を説明し、同意の上で必要最小限の対応ができる体制を整えています。しかし、このような対応を極力行わず、安全に活動いただけるよう、職員の専門性向上に努めています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認しています。 必要に応じ、医師の診断書の提出をいただき、給食の成分表の3重チェック（保護者、事業所、給食業者）を行い、支援提供しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	・毎日全支援者で確認し、活動環境の安全を確保する体制を取っています。
満足度	④⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	<ul style="list-style-type: none"> とても楽しみにしている。 楽しく通っている。 通えるところがあって助かっている。 	○	・少人数で行うソーシャルスキルトレーニングや、経験を通じた生活力等の向上が特色ですが、児童たちは楽しみながら各々の学習を進められており、ういる児童を楽しみにしていると言っていただいています。
	④⑮	事業所の支援に満足しているか	<ul style="list-style-type: none"> 満足している。 いろいろ工夫してくれており、良い機会となっていると思う。 	○	・保護者の方々のご理解とご協力が、私たちにとって最も重要な支援だと思っています。今後とも、お子さまの成長に必要な機会等について、私たちと共に悩み、考え、活動していただけますよう、お願いいたします。